

2020年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者（書記）：宿野部有

日時 2020年7月27日（月） 10:00～12:00

参加者 【評価委員】山本（業界代表）、毛塚（業界代表）、加賀崎（業界代表）、野本（高校代表）、山田（地域代表）黒須（保護者代表）、小柳様（卒業生代表）
【学内関係者】青木、小川、高平、小野、大西、前川、境野

※敬称略

目的 職業実践専門課程における自己点検・自己評価に基づき、委員より客観的な意見を伺うことで、実際の学校運営に活かす。
また、職業教育の水準の維持向上を図るために業界の方からの意見を伺い、教育課程に反映させていく。

議題 1、はじめに
2、学校長挨拶
3、委員紹介
4、主旨説明・現状報告
5、2019年度学校評価関係者評価を受けた取組みの報告
自己点検・自己評価説明
6、総括
7、事務連絡

1. はじめに

2. 学校長挨拶

人事異動による学校側職員の変更について

手洗いうがい消毒、検温の徹底、新しい生活様式に合わせた学校教育について

建学の理念（実学教育・人間教育・国際教育）について

3. 委員紹介（小野より）・事務局紹介（高平より）・自己紹介

4. 主旨説明・現状報告（飯塚より）

自己点検・自己評価においてご意見を頂く場

評価していただいた自己点検・自己評価を学校にフィードバックし、組織運営に生かす取り組みを行っている。

教育課程編成委員会はカリキュラムについて点検を行う。（年2回）

・埼玉福祉学園の沿革・組織目的について

時代によって学科編成や学校名学科名の変更を行っている。今後も時代のニーズに合わせた学校を目指す。

・2019年度重点目標の振り返り（高平より）

1. 「業務改善」と「行事削減」を実現して、広報に集中する環境を作る

→働き方改革の推進のため、チームで業務にあたる体制の構築ができた

2. 「産学連携」を実教育の中心に据えたブランディングの構築を図る

→企業様からのご協力を多くいただき、商品開発に携わる機会をいただき学生への教育成果があがっている

達成状況（教育数字）

■入学生 目標：170名 実績：180名

■退学者 目標：4.0% 実績：3.3%

■国家試験合格率 目標：100% 実績：93%

国家試験合格率については課題が残る結果となったが、卒業後もフォローを続けながら国家試験合格を目指す

・2020年度重点目標について

■学校の新設・分離と統合運営のイノベーション

■産官学教育連携イベントの運営

■マネージャーの育成

5. 令和元年度学校評価関係者評価を受けた取り組みの報告

自己点検・自己評価説明（小野より）

1. 教育理念・目的

3つの理念・4つの信頼・

124社との教育コラボ展開が学生の興味の幅を広げている

※学生の声動画を視聴

（山本様）

企業コラボで夢を見つけるのはいいと思うが、夢をすぐ実現できるという強い思いは危険。今の学生はコピーが上手なので上の方をつまんで出来た気になってしまうが、上にいく過程が大事なんだという事を教えていく事が重要。一足飛びに世界大会を目指すのではなく、挨拶・掃除からはじめるその過程がいかに大事かを伝えていくのが指導者の役目。失敗させない・しなくてすむ時代になっているが、失敗させる事が大事ではないか。

2. 学校運営について

（野本様）

理念や方針を構成員（学生や保護者）がきちんと理解しているのか。

また、方針に反する学生や授業が出た場合のフォロー体制について、その方針を立てて実行するチームなりを作る必要があるのではないか。

→（飯塚より）

「問題があることが問題ではない」という学園の格言があるが、問題を俯瞰でみて対応する事が大事ではないか

3. 教育活動について

養成目的（3～5年後）→教育目標（卒業時の姿）→カリキュラム

養成目的を意識しながら日々のコマシラバス・小テストで目標設定している

課題として「作品及び技術等の発表における成果を把握しているか」

学生、職員共にコンテスト等に出場したい・させたいという意欲の低下が見られる。

意欲をあげる事ができる取組みを考えていきたい。

（山本様）

養成目的を定性目標（言葉）だけで規定するのは難しいのではないか。

店舗では、3年たつと2級の試験が受けられるので2級合格を3年後の目標として明確に

示している。可視化できる目標があった方がいいのではないか。学校の職員も資格を取るべき。学生との共通言語として資格取得（共通の技術）という機軸があった方がいい。

(毛塚様)

調理では共通試験はない。

(小川)

学校としても悩んでいる部分。その時々教務部長や広報方針によって変えていった部分があり統一性がなくなっている。

(山本様)

洋菓子業界も最盛期は会員数が16000を超えていたが、ブラック企業や社会競争の厳しさで洋菓子業界の衰退がみられ会員数も10000を切った。キラキラしている部分だけを見て現実とのギャップを感じての結果ではないか。

4. 学修成果

- 調理師免許取得率 100%
- 製菓衛生師合格率 92.5%
- 中途退学率 3.3%
- 就職率 100% (就職者率 86.2%)
- 1年以内離職者率 17.7%

(小川)

卒業生数と就職者数との差はなにか？

→ (小野) 委託訓練生、留学生の未就職者。留学生は就職意思がない学生が多いのでそこが課題であり今年度留学生の就職支援強化に取り組んでいる。

(山本様)

技能実習生を埼玉でも7名受け入れたが、残ったのは1名であった。考え方の違い等あり難しい。

(加賀崎様)

委託訓練生が入学するメリットはあるのか？

→ (小野) 大変なクラス運営となった年度もあったが、委託訓練生を受け入れられる学校でありたい。委託訓練生のキャリアや特性を理解して受け入れる事が大事。

(野田様)

リーマンショック等があり離職した社会人を、埼玉福祉学園が委託訓練生として受け入れている事に感謝している。日本では社会人の大学入学率2%だが、欧米では30%を超えている。今後ニーズが増えていくと思うので、社会人をどう教育していくのか今後も研究していただきたい。

5. 学生支援

(山本様)

何年も伝えているが、卒業生をもっと活用して欲しい。先生が変わると卒業生が行き辛い環境になっている。OB・OG会をもっと盛んに開催して活用すべき。現場で苦勞している卒業生達の心の拠り所になって欲しい。卒業生からは同窓会に行きたくないという声も聞く。

卒業生の百瀬くんは今や有名人。講習会等依頼してはどうか。

→ (小野) 今後の課題としていきます

6. 教育環境

今年度は海外研修の中止が決まっているが、例年はイタリア・フランス研修を実施している。

7. 学生の募集と受入れ

学生募集＝入学前教育

(野田様)

きれいで楽しそうなパンフレットになっている。来年度はコロナの影響で入学者を集めるのは非常に厳しいのではないか。

パンフレットにもっと学校の先生や卒業生を載せた方が高校生が安心するのではないか。コロナ禍に合わせた募集方法を工夫して欲しい。

8. 財務

(高平) 人を削るのではなく、業務を削る（業務効率化）事で収支を安定させる取組を行っている。

9. 法令等の順守

(小野) HP で情報を公開しています

10. 社会貢献

6. 総括

(黒須様)

子供が卒業学年なので就職が非常に気になっている。

こどもからは1人は内定が出たと聞いているがその後は聞いていない。

もともと学力に不安があるこどもだが、ZOOM 授業で更に集中力がなく学習面も不安。

製菓衛生師の試験はどうなっているのか？ 補習等はあるのか？

→ (小野) ZOOM での個人面談、合同就職説明会を実施。実習授業で登校した際には担任との情報共有を大事にしている。後期は登校の機会を増やす予定でいる。

8月からは自主練習も再開し、そこに補修としての役割も持たせている。

製菓衛生師の試験はどうなっているのか？ 補習等はあるのか？

→ (大西) 試験日がまだ発表されていない状態ではあるが、年明けの見込み。コロナの状況を見ながらだが補習が必要な学生には何かしらの形で必ず実施していく。

(山田様)

入学者がプロになっていくのか、趣味で終わっていくのか。

プロとは「いかに相手に満足してもらうか」を突き詰める事ではないか。

現代は規定の中で安全にやる事、自己満足で終わらせるが多い。これでは趣味で仕事をやっているのと変わらない。プロを目指す事には我慢が必要。

最後に

(小川) 本日はお忙しい中、本校のためにお時間を頂戴しありがとうございました。耳の痛い話もありましたが、今後も正直に運営していく事をお約束します。

就職に関してはコロナ禍で不安も多いと思いますが、全力で就職支援をまいります。

本日いただいたご意見は、学校運営にいかしてまいります。

(学校長) 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

以上